

プレゼンシート PRESENTATION

チーム
F

キャッチコピー

全ての人に快適な移動を!

アイデア名

Every one, every where.

プレゼンの内容

壱山支の移動をもって快適にする

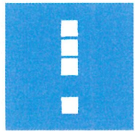
自動運転バスを利用する

という未来をつくるために、

というアイデアです!

チーム名

Trust Six



つくりたい未来シート VALUE CHANGE

チーム
F

つくりたい未来のタイトル

彦根市の移動をもっと快適に!!

いままで

交通手段に困っている人
(特に免許を持たない人や学生)が
移動しにくかった。

未来

交通手段に困っている人(特に左の人)
が気軽に移動できる!!



「いままでは…人々は〇〇だった」の例で…

いままでは人々は交通手段に困っていた。

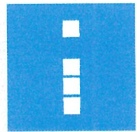
「これからは…人々が〇〇な未来」の例で…

これからは人々が交通手段に困らない未来!!

つくりたい未来につながった気づき (なぜその未来をつくりたいと思ったのか)

島外から来た免許を持たない人はレンタカーが利用できないなど、自由に移動できないことがある。島内の人々、主に学生は移動手段が自家用車に限られる。

自由に移動できよう



アイデアシート IDEA

チーム
F

アイデア名

Everyone, every where.

アイデアの説明

自動運転バスを利用する

壱岐チャリ--雨だと利用できない
今までのバス--便数不足によって
利用しにくい

レンタカー--免許がないと利用できない

自動運転バスにはこれらの不便な
点がないので、最適である

アイデア発想につながった事例 (参考にした世の中のアイデアなど)

・弊社のSociety5.0(壱岐市の自動運転バスの利用案)・美弥さんの体験談

アイデアのイラスト





チャレンジシート [計画] PLAN

チーム

F

イノベーションの実現のために確かめたいこと

自動運転バスにより、志岐島内の移動がしづらいものからしやすいものへと
変えるのか。

確認のためのチャレンジのための計画

- ① 島内の交通手段でどのような点で困っているかを調べる
- ② 市に計画案を提出し、企業、公的機関から専門家を派遣してもらう
- ③ 自動運転バスのチラシを作成し、地域の回覧板で広告する
- ④ 自動運転バスを島内で運行させる
- ⑤ 自動運転バスにより、利用者が移動しやすくなったかアンケートで確認する



まとめシート CONCLUSION

チーム
F

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



- ・ 移動手段が増える
- ・ 新しい技術が壱岐で活用できる
- ・ 新しい産業形態を壱岐に呼び込める

